

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月12日 (2012.1.12)

【公表番号】特表2011-513399(P2011-513399A)

【公表日】平成23年4月28日 (2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2010-549646(P2010-549646)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月14日 (2011.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象の癌の治療用の g p 9 6 を分泌する細胞を含む医薬の組成物において、前記細胞が、前記対象と同種であり、少なくとも 6 週間にわたって前記対象に少なくとも 9 回の投薬で施されることを特徴とする組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の組成物において、各々の前記投薬が、1 0 0 0 万乃至 1 億の細胞を含むことを特徴とする組成物。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の組成物において、各々の前記投薬が、異なる部位で前記対象に施すべく複数の一定分量に分割されることを特徴とする組成物。

【請求項 4】

請求項 1、2、又は 3 に記載の組成物において、前記投薬が、前記対象に皮内投与されることを特徴とする組成物。

【請求項 5】

請求項 1、2、又は 3 に記載の組成物において、前記投薬が、前記対象に皮下投与されることを特徴とする組成物。

【請求項 6】

請求項 1、2、又は 3 に記載の組成物において、前記投薬が、前記対象に腹腔内投与されることを特徴とする組成物。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の組成物において、少なくとも 1 8 回の投薬が、前記対象に施されることを特徴とする組成物。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の組成物において、少なくとも 2 7 回の投薬が、前記対象に施されることを特徴とする組成物。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の組成物において、前記投薬が、少なくとも 1 0

週間にわたって前記対象に施されることを特徴とする組成物。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の組成物において、前記投薬が、少なくとも 18 週間にわたって前記対象に施されることを特徴とする組成物。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の組成物において、前記投薬が、少なくとも 26 週間にわたって前記対象に施されることを特徴とする組成物。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の組成物において、前記細胞が、第 1 のタンパク質をコードする第 1 の核酸を含む第 1 のベクターで少なくとも形質移入されていることを特徴とする組成物。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の組成物において、前記第 1 のタンパク質が、分泌型の gp96 ポリペプチドであることを特徴とする組成物。

【請求項 14】

請求項 12 に記載の組成物において、前記細胞が更に、前記第 1 のタンパク質と異なる第 2 のタンパク質をコードする第 2 の核酸を含む第 2 のベクターで少なくとも形質移入されていることを特徴とする組成物。

【請求項 15】

請求項 14 に記載の組成物において、前記第 2 のタンパク質が、主要組織適合性複合体分子であることを特徴とする組成物。